

令和4年12月教育委員会会議事録

1 開催日時及び場所

令和4年12月21日（水） 午後 1時15分～午後 2時30分
中土佐庁舎1階 大会議室

2 出席者

教育長	岡村 光幸	
教育委員	1 番委員	濱田 貴代
	2 番委員	中沢 建夫
	4 番委員	下村 麻衣子
事務局 次長	多田 昭介	

3 議事録

開 会

（岡村教育長） それでは、定刻になりましたので、ただいまより令和4年12月の定例教育委員会を開催いたします。

日程の前に、高橋委員から本日欠席の申出がありましたので、本日欠席となっております。よろしくお願いいたします。

では、式次第に従って会議を進めたいと思います。

日程第1 前回会議録の承認

（岡村教育長） 日程第1、前回会議録の承認についてを議題といたします。お手元にあると思いますが、修正等ございましたら、お願いいたします。

それでは、ご意見、修正等ないようでしたら、前回会議録の承認をしていただけますでしょうか。

（「はい」の声あり）

（岡村教育長） ありがとうございます。

では、前回会議録については承認されました。

日程第2 本会議録署名人の指名

（岡村教育長） 日程第2、本会議録の署名人の指名ですけれども、前回、濱田委員と下村委員でした。今回、高橋委員が欠席ですので、どちらか続けてということになりますが、中沢委員と

（濱田委員） 私でしょうか。

（岡村教育長） はい、そしたら中沢委員と濱田委員にお願いしたいと思います。

（「はい」の声あり）

（岡村教育長） それでは、今回の会議録署名人の指名につきましては、中沢委員と濱田委員にお願いいたします。よろしくお願いします。

日程第3 報告

（岡村教育長） 次に、日程第3の報告に移りたいと思います。

まず、1の行事等報告からいきます。

12月6日、8日、令和5年度の町内学校の予算のヒアリングを行いました。

1 2月6日、県教委と教育長の人事ヒアリングが中部教育事務所でありました。

1 2月7日、1 2月議会が開会し、1 3、1 4日が一般質問、1 6日に議案審議。全て原案どおり可決されて終了しました。

同日、久礼小中学校の合同マラソン大会が旧漁協からふるさと海岸の前の道路で行われました。結構、近隣のお年寄りも含めて、見学者がたくさん来ておったということです。

1 2月9日、町内の保育所長会。

1 2月10日、土曜日ですけれども、中土佐町のPTA連合会、いわゆる町P連の講演会がありました。リモートで行われたということです。

1 2月20日火曜日、1 2月の定例校長会が昨日ありました。

そして本日1 2月21日、1 2月の定例教育委員会とこの後、中土佐町の総合教育会議が町長室でございます。よろしくお願いします。

(「ここです」の声あり)

(岡村教育長) 失礼しました。この会場です。ここで行われるということです。

2番、行事等予定についてです。

1 2月22日に美術館の運営協議会があります。

1 2月23日、2学期の小中学校の終業式があります。大野見小中は24日参観日を兼ねて終業式を行うということです。

それから、年が明けまして1月2日、午前中に9時から体育はじめ、それから午後1時より、令和5年中土佐町二十歳を祝う会。今まで成人式と言われていたものですが、名称を変えて、町民交流会館のホールで行います。

それから、1月10日、3学期の始業式があります。

1月12日、新中土佐町立美術館建設検討委員会があります。

1月13日、支援を要する児童生徒の情報交換会と定例の校長会があります。

1月14日、中土佐町社会教育委員の研修会があります。

1月17日、中土佐町教育長杯のグラウンドゴルフ大会、これは大野見のグラウンドゴルフ場であります。

1月18日から20日が令和5年度の当初予算の査定となっております。

1月24日、2回目の人事ヒアリングが中部教育事務所のほうであります。

以上となっております。何かご質問とかございますでしょうか。お願いします。

特によろしいでしょうか。

(濱田委員) 成人式には、今まで教育委員も出ていましたけれども、今年からどうなりますか。

(多田教育次長) コロナが始まってから、来賓の方をかなり絞った形をお願いしています。今年の来賓につきましても、町長、議長のみという形になっておりますので、保護者の方も全て会場には入らないという形で行いたいと思っております。

(濱田委員) 分かりました。

(多田教育次長) 今回は残念ですが、教育委員の皆さんはちょっとご参加はなしということで、すみません。

(中沢委員) 今、濱田さんおっしゃったのは、なぜ成人式というのを二十歳を祝う会に変えたのかということ。

(濱田委員) いや、違います。出席についてです。前は出席していましたから。

(中沢委員) 分かりました。そうしたら、質問があります。

(岡村教育長) はい、どうぞ。

(中沢委員) 今まで成人式と言っていたのに、それをどうして二十歳を祝うというネーミングになったのか。

(岡村教育長) 法律が変わって、18歳が成人になったんです。

(中沢委員) それ、いつからですか。

(多田教育次長) 今年でしょう。去年までは成人式という言葉を使っていました。

(岡村教育長) 当分の間、本町では今まで通り二十歳でこの式典を実施するように考えております。18歳は、多くの人が高校3年生であり、大学の入試も控えていることが主な理由となっております。当分の間としているのは、他の自治体の動きも参考にしていきたいということも含まれております。ご理解をいただければと思います。

(岡村教育長) そのほか、日程第3の報告について、ご質問とかご意見ございますでしょうか。

(「なし」の声あり)

(岡村教育長) ないようでしたら、日程第3も終わって、続いて日程第4の協議に移りたいと思います。

日程第4 協議

(岡村教育長) 今日、予定している議題は、令和5年度中土佐町教職員の人事異動についてですが、これは秘密会議にしたいと思います。よろしくお願いいたします。

(「すみません、もう一つこれを追加しましたので」の声あり)

(岡村教育長) 失礼しました。それともう一つ、上ノ加江保育所の休園についてを議題として協議をしたいと思います。

(多田教育次長) すみません。次の総合会議のほうでも議題に上がりますので、簡単に今の現状をお話だけさせていただきたいと思います。

上ノ加江保育所の休園につきましては、今年、年度当初より保護者の方と協議を持ってきました。その方向性がある程度固まってきました。来年度から久礼保育所への統合について、保護者の方々からも承認がいただけたという部分がございます。

この後、続いて総合会議がありますので、このときに、詳しい町長のほうからご発言があるかと思いますが、ここの段階では、皆様方には、教育委員会として定例の教育委員会の中でお話をさせていただいて、ご承認といたしましょうか、ご理解いただいた上で、次の総合会議の移りたいと思ひまして、今回出させていただいております。

あえてここで議決とかそういう話ではありません。こういうことをお知りおきくださいということで、議題として上げさせていただいております。

以上です。

(濱田委員) 4月からですね。

(多田教育次長) そうです。もし、教育長からありましたら。

(岡村教育長) これは、今までも何回か議題といたしますか、協議してきた、あるいは報告してきた内容ですが、正式に前回の保護者会で、一人ずつご意見もお伺いした。最終的に、久礼に通所する、九礼保育所へ行ってもいいという方は挙手をお願いしますということで、全員挙手をしていただいて、4家庭とも令和5年の4月から九礼保育所に通所することになりました。

その後、実は、通所の方法、要するにバスを出すとか、いろんな方法について話しして、結構、二、三十分、時間を取ってバスの話とかもしたんですが、最終的に、ところでバスを利用する家庭どれくらいおるかちょっと知っておきたいのでお伺いしますということで、「家庭で、要するに自家用車で久礼保育所に通園される方、予定されておる方どれくらいいますか」と聞いたら、4家庭とも全部手を挙げました。

要するに、バスの話とかしたんですが、結局、全家庭がもう今の久礼の保護者と一緒、保育園までは連れて来る、それで連れて帰るということを家庭のほうですると、そ

ういうことでした。

ただ、何かあったときに、どうするかというのがまだちょっとくすぶっているというか、そんなときは何とかしてもらいたいというようなご意向はあるんですけども、それはまた今後協議しながら進めていきたいということです。

ここまでが久礼保育所に通所することで決着したんですけれども、あとその職員が2名プラス所長と調理師、4名がこっちに来るようになるんですけれども、全員久礼保かというところでもなくて、調理師は大野見の調理師が辞める意志があるので、そこへ調理師は入るということで、そこもうまくはまりました。

あとは、所長が今3人おります。2保育所になるので、3を2にしないといけないけれども、降格というのは基本ないので、代わる職、あるいは職名とかを考えて、そこは町長とも相談して、ひょっとしたら今日の総合教育会議で町長案が出るかもしれません。

我々の間では、一定、案は共有はしているんですけどもという状況です。

(中沢委員) あれですか、そうしたら来年4月から、久礼保育園へ、上ノ加江の皆さんが、父兄が送ってくるわけですね。たまたま、今4家庭で、ある家庭がどうも送れなくなったと、送迎ができなくなったとしたときには、町がやっぱりいろいろ考えてくださるんですか。

(岡村教育長) そこが、今回の提案というか、最初は意見聴取から始まったんですけれども、提案としては教育委員会、要するに町側が提案をして、久礼保に行ってもらおうという形ですね。だから、町側の提案だから、何らかの交換条件はあってしかるべきやとは思います。

かつては、だからそういった通園バスを出したりとかという、あるんですけれども、そうすると、今度はほかの地域とのバランスもあるんですね。大野見は北地区もあり、結構広いはあるけれども、基本はもう全家庭が送り迎えをするという、これはやっているんですね。

じゃ、上ノ加江は10分かからん距離を町が送って、大野見30分かかるところはそれがないのかよという話にもなるということ。それから、久礼だけでも結構遠いところというか、奥もありますし、結構広いので。じゃ、途中の笹場はどうするかとか、将来的にどうするかというのが出てきたときにも対応していかなければならぬので、何らかの方法は取りたいんですけれども、小さい子供さんは、要するに、保育所の園児は、単独で乗せられてないんですね。そこが一番、道交法の問題とかいろいろあって、だから、例えば、保育士とか、保護者を同乗させる。それから、チャイルドシートを必ずつけないといけないとか。だから、小中学生だったら運転手が1人で五、六人乗せて通学バスができるんですけれども、そういった課題もあります。

(多田教育次長) 小中学生なら、急遽のときに、職員が今も送迎しているんですけど、保育園児は今、必ず保護者が誰かがつかないといけないので、急遽がきかないんです。運転手だけ構えたらいいというわけにはいかないので。保育園の先生もついていただかんといかんで、そこがすごく急遽はきかないんです。

(濱田委員) これまでも送迎する場合は、保育士が2名必ずローテーション組んで、行きも乗って、帰りも乗っていました。まだそのときはチャイルドシートの規制がなかったもので、そのままバスでしたけれども、やはり保育士は乗っていました。

(岡村教育長) さらに、ややこしいのは早出とか居残りとかあったら今度は2便バスを出さないかんとなってきますので、いろんな課題があります。

もう一つ、その心配するのは、久礼保に行くじゃないですか、当然、同級生が、友達ができますよね。そうしたら、じゃ、小学校はといたら、距離的にも上ノ加江、久礼は近いものだから、久礼に行きたいと言い出したときに、じゃ、上ノ加江の小学校に入学しな

いとなったときには、今度はまた小学校の問題に発展していくという、要するに統合問題になっていく。

（濱田委員） 多分、それはもう出ますね。

（中沢委員） そう思います。子供らは自分たちで遊びよったら一緒に行きたいのは、あえてわざわざ離れてはないと思うので、多いと思います。

（岡村教育長） それで、タイミングがさらに悪いのは、今の年長と年中の間に一年丸々空いているんです。5歳児、4歳児、3歳児でいうと、5歳児が6人、次がゼロ、次が4人なんです。ということは、今、その6人が全員上小に入学してくれます。けれども、その次は入学者がいらないんです。ゼロなんです。ということは、今の3歳児は2年間久礼に通うんですね。4歳、5歳と。ますます人間関係が濃くなって、しかも、入学式1年ない、ゼロの次に、その学年だけぽつんと入ってくるという、そういったこともあって。

（濱田委員） 引き続いて上小の存続にまで話がでてきますね。

（岡村教育長） もう直結です。

（濱田委員） 出てくる可能性も。

（多田教育次長） 既にそこは、もう、教育委員会自体も、議会のほうにも、将来的にはこういうふうな、次に絶対この話が出ますけれども、児童数の推移はもう本当に上ノ加江は今後かなり厳しい状況が続くということになります。

（岡村教育長） 今年も1人、秋に1人生まれたかな。

（多田教育次長） そうです。

（岡村教育長） 1人生まれたんです、その子だけやと思います。

あと、上ノ加江から久礼保に来ている学年、だから3歳より下も1歳児とかもおりますけれども、2歳、1人とか2人、けれども、それは今全部、保護者が送り迎えしていますので。だから、1人だけで入学するというのは、勇気要りますよね。上もない中で。だから結局、九礼小へ行きたいと。まあそうなると思うんですね。

ただ、今回、早めに言ったのは、4人の家庭も言いにくいじゃないですか。自分らの子供が行かんかったら小学校がなくなるとか、早く統合になってしまうみたいなことという、今、通いゆう親に対しても何か、狭い地域なので。

だからそんなこともあって、親が言いにくい、子供ためにはやはり九礼小に行かせたいと思っていても、言いにくいという状況があってもいかんと思って、今、委員会とか、表に出てやっているという、本当はそういう側面もあるんですけれども。

（岡村教育長） さらに悪いことに、菱高精機の移転。

（多田教育次長） そうです。

（岡村教育長） それプラス、「かど」も出ていくとか。もうそうなったら、ますます、また上ノ加江かよ、また上ノ加江が寂れるという、当然思いがあって、やはり子供の声はいつも聞きたいとかいう地域も声も十分理解できるし。

（濱田委員） 中学校がなくなっただけでも何か寂しいというような声は上ノ加江で聞きます

（多田教育次長） なくなってまだ2年ですよ。それでもう次に保育園、それで、菱高精機、それから、「かど」がなってくると、やはり皆さんの思いは、やはりどうしても教育長言われたように、どうして上ノ加江だけがこういうふうになってという思いは出てくると思います。

（濱田委員） 出てきますね。

（多田教育次長） 次、この話はもう一回出てきますので、町長のほうから。

（岡村教育長） 町長のほうからその見解は伺います。

それでは、先に次のお願いします。

(多田教育次長) 構いませんか。

日程第5 その他

(岡村教育長) お願いします。その他。

(多田教育次長) その他のところで、これもご報告という形でお願いさせていただきたいのは、今12月議会で、町長のほうから、給食費の無料化、それと保育園の完全無料化が表明されました。新聞報道等でもありましたが、そのほかにも、今、細かいところについては、いろいろ通学助成の拡充、それから入学祝い金とか出産祝い金等も検討はされております。

今回は町長が、子育て支援のほうに力を入れていくということで、今後、来年度予算に向けて、またいろいろ具体的な数値上がってくるかと思いますので、そのときには、定例の委員会にもかけさせていただいて、協議していただくことになると思いますので、すみませんが、今の状況を先にお話をさせていただきます。

以上です。

(岡村教育長) ここはいろいろ質問もあるかもしれませんが、どうすればいいかな。

(多田教育次長) ご質問等ありましたらよろしくお願いします。

(濱田委員) 中土佐町少子化対策専門部会とって、この教育委員から一人出てもらいたいと、まちづくり課の話があつています。

(多田教育次長) まさに今さっき話した事業の内容をこの会で詰めたいということで、まちづくり課長のほうから聞いていました。それで委員会活動の部分の中でお声をかけているというのは報告を受けております。

(濱田委員) 若い人がいいのではないかと行って、実際、今子育てしている小学生とか保育園の保護者とか、そういう人がいいんじゃないと思い、私も意見言わせてもらいましたけれども、そういう人も入っていますと言われて受けることとなりました。

(多田教育次長) よろしく願いいたします。この会は、引っ張る会ではないと思っています。今回のこの事業を積み上げるのに、皆さんの承認をいただく、お話が主になってくると思います。今回の子育て支援のこのメニューが果たしてどこまで細かい部分も含めて話し合いになるんじゃないかなとちょっとお話は聞いていますけれども。

(濱田委員) 1月17日に第1回目の会が予定されています。

(多田教育次長) そうです。予算編成に向けてのその会、開いてやっていくような形になっております。

(濱田委員) そういうことです。

それから、伊藤忠商事の財団に出していました申請ですけれども、オッケーが出まして、30万円、久礼小へいただきました。今までは、東京で贈呈式やって、全て主催者が持ってきて、贈呈式行けると思っていましたけれども、コロナになってリモートだそうです。

それは小学校でリモートはできますかね。

(岡村教育長) できます。

(濱田委員) その会を決定が来ましたので。

(多田教育次長) そうしたら、また日程等は教えていただければ、設備なんかの部分も職員に準備もできると思いますので。

(濱田委員) もう12月は忙しいので、1月入ってちょっと集まろうかという話していますので、またいろいろ決まったら次長のほうに連絡さしてもらいます。

(多田教育次長) 行きたかったですよね。

(濱田委員) 考えていたんだけど、残念。

(岡村教育長) それこそ、東京で思い出しましたけれども、今、町の教育行政の柱、

保小中連携の中で、知・徳・体のバランスで脳科学に基づく知と徳、食育と運動による体づくりと、この2本の柱を立てている。そのうちのこっちの食育と運動による体づくりという部門で、文部科学省の表彰を受けることになりました。

（多田教育次長） 前に一度、大野見の給食の関係でご報告さしていただいたものですよ。

（濱田委員） 前と変わってないですよ。

（多田教育次長） 申請を上げさせていただくということでお話ししてもらった件だと思います。

（岡村教育長） そうです。あの申請を上げていた分です。それが高知県で1校ということで。

（濱田委員） すごいですね。

（岡村教育長） それで、ただこれも表彰式がちょっと東京かもしれないけれども、リモートでの参加でということで、コロナの感染状況によっては、リモートで受賞ということで。保小中連携、本当によくやってくれているし、前も言ったかもしれませんが、保育所も具体的に指示したら、保育所の職員というのは本当によくやるがですよ。

今、本当に運動もやらせてくれて。ただ、ときどきしますけれどもね、久礼の保育園、この前は国道の横、行列になって通っていくのが、ちょっとうれしいような、ときどきするような感じですけども、体というのはやっぱり基本やから、人間は、動物なのでやはり体づくりしっかりしていないと、いくら知恵をつけても弱々しい体では健康で長生きできないと思うんで。そんなうれしいニュースがありました。

（多田教育次長） 次にこの研修会ですが、新任の教育委員さんの研修で、基本的には、下村委員とそれから高橋委員になると思います。

（濱田委員） はい、お願いします。

（岡村教育長） 次に、次回日程ですけど、1月26日でよろしいでしょうか。

（「はい」の声あり）

（多田教育次長） お構いなければ、13時15分、今日と同じ時間帯で、また案内文章を回させていただきます。

（岡村教育長） それでは、次回は1月26日（木）13時15分時からにいたします。以上で、12月定例教育委員会を終了いたします。

上記は会議の次第を記したものであり、事実と相違ないことを証するため、ここに署名する。

令和5年 / 月25日

教育長

岡村 光幸

委員

瀬田 貴代

委員

中 沢 建夫